

各種調査事業の設計

1. 地域交通に関するニーズ調査における各種調査事業の全体像
2. 各種調査の実施方針

参考 各種調査事業と地域公共交通計画最終答申との対応関係

令和 8 年7月29日

1. 地域交通に関するニーズ調査における各種調査事業の全体像

1

調査目的

狛江市の“地域交通の目指す姿”を検討するための
課題の抽出や現況・ニーズの把握

需要側（市民に調査）

- ・ 普段の移動の困りごと
- ・ 公共交通の利用実態・課題 など

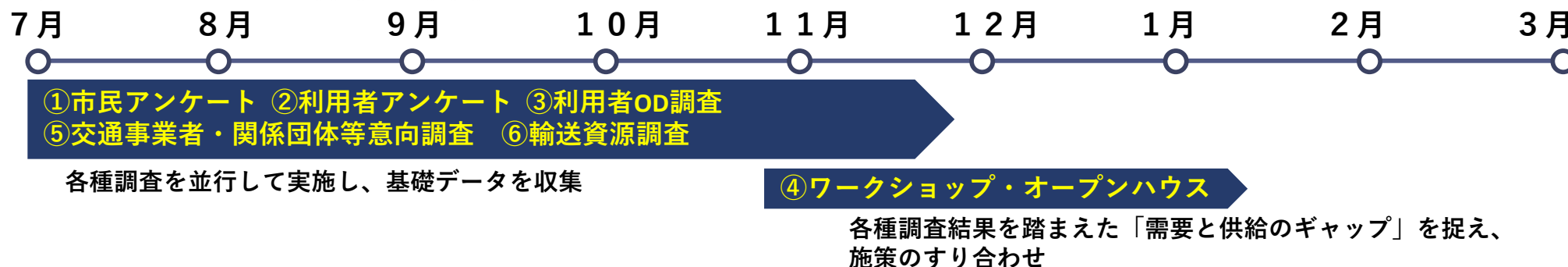
▶ 需要と供給のギャップをすり合わせ ◀

供給側（事業者調査）

- ・ 運営実態・課題
（運転士不足、採算性）
- ・ 活用可能な輸送資源 など

①市民アンケート調査 	②利用者アンケート調査 ③利用者OD調査 	④ワークショップ ・ オープンハウス 	⑤交通事業者 ・ 関係団体等意向調査 	⑥輸送資源調査 
○ 普段の外出の様子 ○ バスの利用状況 ○ デマンド交通の利用意向 など	○ よく使うバス停 ○ 利用する頻度 ○ 困りごと ○ 乗り継ぎ方法 など	○ アンケートでは分からない声を集め、市民が求める交通サービスと実際の交通のずれを合わせる。	○ 交通事業者の現場の課題 ○ 高齢者や障がいのある方などの外出時のお困りごと	○ 福祉施設などで使われている送迎車調査 （将来の移動手段として活用検討）

< 調査スケジュール（令和8年度） >



2. 各種調査事業の実施方針

《凡例》目的：調べたいこと / 調査項目：獲得したいデータ 2

①市民アンケート調査



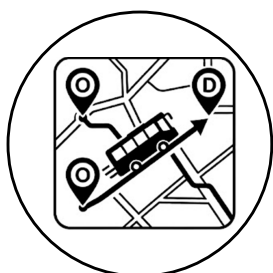
目的 普段 <u>どこへどのように出かけ、どんなときに困っているか</u> を調査する	
調査対象	粕江市民を対象に約2,000票のアンケートを配布
調査項目	✓ 基本情報 ✓ 普段の移動手段・目的・外出頻度など ✓ 公共交通の利用頻度 ✓ 移動の困りごと ✓ 新しい移動手段の利用意向 ✓ 今後の交通政策に対する意見 など

②利用者アンケート調査（路線バス・こまバス）



目的 <u>いつ・どんな目的で利用し、どんな点に困りごとを感じているか、またデマンド交通などの新たな交通を使いたいかなど</u> を調査する	
調査対象	路線バスやこまバスの利用者に、路線バス約1,500票、こまバスは南北ルート各300票のアンケートを配布
調査項目	✓ 基本属性 ✓ 公共交通利用実態 ✓ 公共交通の課題 ✓ 新たな交通の利用意向 ✓ 今後の交通政策に対する意見 など

③利用者OD調査（こまバス）



目的 こまバスを <u>いつ・どのバス停で・どれくらい利用しているか、乗り継ぎの有無</u> も調査	
調査対象	こまバス利用者にビンゴカード形式のアンケート調査表を配布
調査項目	✓ 基本属性 ✓ 目的 ✓ 乗降者バス停 ✓ 乗り継ぎの有無 など

④ワークショップ・オープンハウス



目的

調査で見えてきた「市民の思い」と「実際の交通」のズレを共有し、市民の行動変容も含めた必要な取り組みを話し合う

調査対象

狛江市民を対象に2地域・各1回のワークショップまたはオープンハウスを開催

調査項目

✓公共交通の利用実態（よく行く目的地、移動手段等） ✓公共交通の課題・要望（普段の移動の困りごと等） ✓交通体系について ✓目指すべき姿 など

⑤交通事業者・関係団体等意向調査



目的

【交通事業者】運行状況や利用者の特性、交通事業者目線の課題などを把握

【関係団体】アンケートで見えない普段の移動の課題、要望などの理由・背景を把握

調査対象

交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアモビリティ）、関係団体等（高齢者団体、障がい者団体、社会福祉関係団体、高等学校、子育て施設ほか）

調査項目

【交通事業者】 ✓運行回数、利用者数など ✓地域交通の利用特性 ✓公共交通の課題や将来見通し ✓今後の交通政策との連携の必要性
【関係団体等】 ✓利用状況 ✓公共交通の課題等

⑥輸送資源調査



目的

福祉施設や学校などが持っている送迎車の数や使われている時間帯などを調べ、将来地域の新たな移動手段として役立てられるかどうかを調査

調査対象

医療施設、高齢者施設、教育施設、自動車学校、子育て支援施設 など

調査項目

✓対象施設の基本情報及び車両保有状況
✓送迎車両の協力意向（新たな移動手段としての協力意向）

参考 地域公共交通計画最終答申の項目に対応した各種調査事業

国交省「地域公共交通計画のアップデートガイダンス」地域交通の課題の洗い出しの観点		公共交通軸と拠点の充実・保証の観点				地域における移動の確保の観点			持続可能性・実現可能性の確保の観点				その他
調査目的 各種調査事業		どのように利用しているのか	利用者の特性 事業者目線の課題把握	他区市事例の動向把握	送迎車両の保有状況、協力意向	どんな困りごとを感じているのか	アンケートで見えない課題の理由・背景	利用者の特性 事業者目線の課題把握	制度・取組等の整理	新たな交通を使いたいのか	「市民の思い」と「実際交通」のズレの共有	事業者目線の課題	地域交通状況の把握
地域交通に関するニーズ調査	①市民アンケート調査	A				A、F							
	②利用者アンケート調査	A				A				E			
	③利用者OD調査	A											
	④ワークショップ・オープンハウス	A				A、F	A、F			E	G		
	⑤交通事業者・関係団体等意向調査	a 既存交通事業者	B、C、G				G	C、G			G	G	
		b シェアモビリティ事業者	B、C、G				G	C、G				G	
		c 高齢者・障がい者団体	A			A					G		
		d 教育・子育て施設	A			A					G		
地域交通に関する現況把握	⑥輸送資源調査				E、G								
	既存資料整理（各種統計、事業者資料）			B					D				D、C

凡例

	需要側	■最終答申に示す留意点（要約）			
	供給側	A 生活のニーズと移動実態の把握	C 交通ネットワーク	E 新たな交通需要の予測	G 需要と供給のギャップ
	その他	B 地域拠点・軸などの地域特性	D 人口情報や将来動向	F 属性別アンケート調査、ワークショップ等	